

# TOURISM SCOPE

E-book

Volume 27  
2013

The Official Magazine of the Tourism Promotion Organization For Asia Pacific Cities

ISSN 1739-5089





Tourism Promotion Organization  
for Asia Pacific Cities

## *Tourism Promotion Organization for Asia Pacific Cities*

アジア太平洋都市観光振興機構(以下、TPO)は、アジア・太平洋地域の都市のネットワーク化を図り、観光産業を発展させる目的で創設された国際観光機構です。現在、11カ国71の地方自治体と、観光産業関連協会、研究機関、観光地のマーケティング機関(DMO)など、36の民間団体が会員登録しており、観光産業の活性化に向けて、会員都市間の観光産業に関する情報交換や、観光商品開発、共同マーケティング事業、観光分野の教育及び人材育成事業などの活動を展開しながら、アジア・太平洋の都市観光開発に取り組んでいます。

ご購入は、TPO公式ホームページ <[www.aptpo.org](http://www.aptpo.org)>でお申し込みいただけます。

## Contents

- 03 CULTURE & TRAVEL**  
全州韓屋村で過ごす一日  
古き良きものを訪ねる旅
- 07 SPECIAL**  
日帰りタイ旅行  
Move, Move, Thailand!
- 13 CITY THEME TOUR**  
2泊3日休暇プロジェクト  
Healing TAINAN VS. Tasty OSAKA
- 17 CITY THEME TOUR**  
中国芸術の中心地  
上海建築&アートツアー
- 21 TREND & ANALYSIS**  
アウトドアライフ キャンプの再発見  
Go Camping!
- 25 FESTIVAL CALENDAR**
- 27 TPO NEWS**
- 29 TPO INTERVIEW**  
東洋の真珠 ペナン  
Dato' Patahiyah Binti Ismail 市長



全州韓屋村で過ごす一日  
古き良きものを  
訪ねる旅

全羅北道の中部に位置する全州(チョンジュ)。道庁所在地でありながらも、町は非常に閑静で、中心部には韓国伝統家屋が密集した全州韓屋村(ハノクマウル)がある。村の中には、全州韓屋生活体験館、伝統工芸品展示館、全州伝統韓紙院など、体験プログラムを実施している施設があるほか、伝統小物を扱うショップ、伝統茶カフェ、伝統料理店などもあり、工芸から料理まで、全州に伝わる文化に触れることができるスポットが充実している。

## 11:50

### どんなことでもお尋ねください! 観光案内所

韓屋村を散策する前に、観光案内所で、全州韓屋村のパンフレットや地図を入手しよう。観光案内所は慶基殿、梧木台、完板本文化館、韓屋村公営駐車場の近くにもそれぞれある。梧木台観光案内所前からは、歴史解説士による全州韓屋村案内ツアーも出ているので、興味があれば参加してみよう。ツアー開催時間は平日の14時、土日の10時、13時、15時。文化施設をめぐる1コースと全州郷校をめぐる2コースがあり、曜日によって行き先は異なる。所要時間約1時間。



## 12:40

### 麺の真髄 ベテラン

慶基殿がある通りから一本中に入った全州ソンシム女子高校前にあるカルグクス(手打ちうどん) 専門店。1977年にオープンして以来、女子高生をはじめ、地元の人々に愛されてきた有名店だ。海苔、エゴマ、粉トウガラシがたっぷり入ったカルグクスが代表メニューだが、暑い夏は濃厚な豆乳の中に麺が入ったコングクスも人気。ここのコングクスは、ミスカル(穀物の粉)がたっぷりかかっていて、香りがいいのが特徴。麺料理だけでは物足りないという人は特製マンドゥ(ギョーザ)を注文しよう。

住所 全州市完山区校洞84-10 電話 063-285-9898 営業時間 8:30~21:30 価格カルグクス、チョル麵5000ウォン、コングクス、蕎麦6000ウォン、マンドゥ4000ウォン



## 12:00

### 伝統アート散策 工芸名品通り

韓屋村には、質もデザインも良い手工芸品を扱う店がたくさんあるので、ぜひ立ち寄ってみよう。メインストリートだけでなく、狭い路地の中にも、木工芸品店や陶器店、韓

紙の人形「タクチョンイ」を扱

うショップ、アートカリグラフィー専門店などがあり、散策が楽しい。工房を兼ねたショップも多く、中には体験プログラムも実施しているところもある。団扇、駒、木の人形作りなどが体験できるので、思い出づくりに参加してみてはいかがだろうか。

行き方 梧木台観光案内所から慶基殿の方へ徒歩約2分



### マダン唱劇 <天下盲人が目を開く>の観賞を楽しむ

#### 全州韓屋村



全州韓屋村では、韓国を代表する民俗芸能、唱劇を楽しむことができる。唱劇とは、節をつけた物語を、歌と打楽器で語るというもので、パンソリとも呼ばれる。

全州では、韓国に古くから伝わる民話「沈清伝」を現代風にアレンジした<天下盲人が目を開く>が観賞できる。韓国文化を存分に体験したい人は、唱劇観賞、韓国伝統文化無料体験(7つのプログラムの中から1つ選択) チケット、韓国料理食事券がセットになった1日券がおすすめ。また、この3つの体験に、韓国伝統家屋ゲストハウス「三到軒(サムドホン)」での宿泊、全州名物のコンナムルカップ(もやしカップ) 朝食券がついた1泊2日のスペシャルパッケージもあるので、全州での宿泊を考えている人はこちらがお得だろう。なお、唱劇<天下盲人が目を開く>は、10月5日までの毎週土曜日夜8時から、全州ソリ文化館にて公演される(公演時間70分)。

お問い合わせ 063-283-0223 料金 1日券2万5000ウォン、1泊2日パッケージ2名で11万5000ウォン、4名で18万ウォン



## 13:30

## 太祖の威厳 慶基殿

朝鮮王朝の始祖である太祖李成桂の肖像を奉安しているところ。慶基殿は「めでたき場所に建てられた宮廷」という意味で、1410年(太宗10年)に創建された。当時、慶州や平壤などにも王の肖像画を祀っていたが、文禄・慶長の役で全焼し、残っているのは、ここ慶基殿のみ。気品ある御真影を鑑賞した後は、緑がきれいな敷地内をゆっくり散策してみよう。朝鮮王朝実録などの国家記録物を保管していた全州史庫や、全州李氏の始祖李翰公の位牌を奉安した肇慶廟なども見学することができる。毎日11時、14時、16時から、歴史解説士と共に慶基殿をまわることができる文化解説プログラムが実施されている(正門前より出発)。

住所 全州市完山区豊南洞3街102 電話 063-287-1330  
 営業時間 火～日曜日9:00～19:00(毎週月曜日休館、6～8月は20時、11～2月は18時まで) 入場料 大人1000ウォン、青少年700ウォン、子供500ウォン



## 15:30

## 韓屋村を代表するピンス列伝

## ウェハルモニソムシVS サランナムカフェ

「ウェハルモニソムシ」は、全州韓屋村で最も人気のあるパッピンス(韓国式かき氷)の店。この名物、煮小豆と黒ゴマがのった「昔ながらのパッピンス」の美味しさが口コミで広まり、店の前には行列ができることもあるとか。一方、同じく韓屋村で人気のカフェ「サランナムカフェ」はナツメ入りのピンスを楽しむことができる。シャリシャリしたかき氷とナツメ、小豆がよくマッチした一品だ。「ウェハルモニソムシ」の「昔ながらのパッピンス」と「サランナムカフェ」の「ナツメ入りパッピンス」は、共に韓屋村の名物なので、食後のデザートとしてぜひ味わってみたい。なお、サランナムカフェは、店の前に連理の木がそびえているので、目印にしよう。

ウェハルモニソムシ 住所 全州市完山区校洞113-4 電話 063-232-5804 営業時間 12:00～22:00  
 価格 昔ながらのパッピンス6000ウォン  
 サランナムカフェ 住所 全州市完山区校洞118-3 電話 063-288-0035 営業時間 月～水・日曜日10:00～23:00、金・土曜日10:00～24:00 価格 栗ナツメパッピンス6500ウォン



## 14:50

## 偉大な殉教の聖地 全州殿洞聖堂

韓国天主教会史上初の殉教者であったユン・ジチュンとクォン・サンヨンの殉教の聖地として知られる聖堂。90年代に大ヒットした韓国映画<約束>の中で、主人公のパク・シヤンとチョン・ドヨンが結婚式を挙げたところとしても有名。1914年に竣工したロマネスク復古様式の聖堂は、神聖な雰囲気に満ちている。毎週日曜日の朝9時と夜8時にミサがある。

住所 全州市完山区殿洞200-1 電話 063-284-3222

## 17:00

## 韓紙で作る私だけの手帳 三到軒

観光客に人気があるゲストハウス。名称の「三到軒」とは、昔の人の粋な暮らしを目で楽しみ(眼到)、全州の人々の心を味わい(口到)、思い出を心に刻む(心到)という意味。ここでは、韓紙の手帳作りプログラムを実施している。工程はやや複雑だが、先生が手取り足取り教えてくれるので、頑張って世界にひとつだけの手帳を作ってみよう。なお、韓紙手帳はサイズが大きくても軽いのが特徴だ。体験時間は約1時間。

住所 全州市完山区豊南洞3街42-5 電話 063-282-3337 料金 韓紙手帳作り7000ウォン



## 19:00

## 全州は食の宝庫 全州のおもてなし料理を味わう

全州ソリ文化館では、土曜日の夕方7時から、全州のおもてなし料理を味わうことができる。マダン唱劇<天下盲人が目を開く>の観覧客を対象にした食事会で、全州のお母さん

たちが腕をふるった、薬飯(蒸したもち米に栗、ナツメ、松の実、醤油などを混ぜて蒸したもの)、スユク(ゆで肉)、ムツ(どんぐりの粉をゼリー状に固めたもの)、お餅、スジョンガ(干し柿、ショウガ、桂皮が入った飲み物)、マッコリなどのおもてなし家庭料理が堪能できる!



## 20:00

## 愉快的沈清伝の再臨

## マダン唱劇&lt;天下盲人が目を開く&gt;

全州ソリ文化館では、韓国伝統家屋に設置された野外舞台上で、唱劇公演を楽しむことができる。<天下盲人が目を開く>の原作である「沈清伝」は、韓国に古くから口伝という形で伝わってきた民話だ。内容は、母を失い、盲の父のもとで貧しくも可憐に育つ沈清という少女が、米三百石を仏様に供養すれば、父の目が開くと聞き、米の代価に身売りし、印塘水の航路の生費になる。しかし、沈清の孝行に感動した竜王が、彼女を救い、父に再会させたところ、父はうれしさのあまり目を開いた、というストーリー。本公演は、これを現代風にアレンジしたもので、途中、韓服を着てプレイクダンスを踊るB-BOYが登場するなど、迫力満載の舞台になっている。



## 21:30

韓屋で過ごす静かな夜  
全州韓屋生活体験館

韓屋文化を楽しみたいなら、宿泊するのがおすすめ。韓屋村にはいたるところに伝統家屋ゲストハウスがあるので、時間が許すなら、ぜひ1泊していこう。全州韓屋生活体験館は、朝鮮王朝時代に両班(貴族)が住んでいた家屋を改築し、2002年に宿泊施設としてオープンした。館内は、大人の男性が寝食を行なう部屋であるサランチェ、大人の女性と子どもの部屋であるアンチェ、使用人の部屋であるヘンラン、広い板の間であるテジョンなどがあり、伝統的な造りになっている。客室は全9室。火～土曜日の午後4時からは、凧作りや伝統羽子作りなど、伝統文化体験プログラムを実施している。曜日ごとにプログラムが異なるので、詳細は施設で確認を。費用は宿泊客3000ウォン、観覧客5000ウォン。所要時間は約1時間。

住所 全州市完山区豊南洞3街33-4 電話 063-287-6300 宿泊料 1部屋(二人用)7万ウォン～(一人追加で1万ウォン追加) ホームページ [www.jjhanok.com](http://www.jjhanok.com)



日帰りタイ旅行

# Move, Move, Thailand!

見どころ遊びどころ満載のバンコク。しかし、近年、バンコクを飛び出して、日帰りで郊外に出掛ける旅行者が増えている。田舎町の路地裏や市場へ行くと、大都会にはない、素朴ながらもダイナミックなタイに出会うことができるからだ。せっかくタイに来たのなら、バンコクだけにとどまらず、ワンデイトリップを楽しんでみよう。きっと新しい感動が待っているはずだ!



## ○ Bangkok Plus

### バンコクからのワンデイトリップ

バンコクのプラナコーン区に、世界中から来たバックパッカーのたまり場、カオサンロードがある。通りに面したバーには、初めて出会った者同士が楽しげにビールグラスを傾ける姿があったり、ショップでは、10バーツでも値切ろうと駆け引きに忙しい旅行者がいたり、深夜になっても街は眠る様子がなく、陽気でにぎやかだ。カオサンロードを訪れるだけでもバンコクを十分満喫できるが、この街の魅力はもちろんこれだけではない。タイ王室の文化を垣間見ることができらびやかな王宮や、リーズナブルなファッションアイテムが揃うショッピング街、旅で疲れた体を癒してくれるタイマッサージなど、人々を魅了してやまないスポットが目白押しだ。バンコクを一度訪れたら、リピーターになる人が多いのは、こうして訪れるべき場所が非常に多く、また多彩だからだろう。しかし、近年は、バンコクへやってきた旅行者が、その短い滞在中に、近郊にも足を運ぶという。

チャオプラヤー川を渡り、1、2時間ほど車で走ると、それまでの市内の混雑がうそだったかのように交通量が減り、かわりに道路の真ん中を水牛がのそのそと歩く、のどかな風景が広がる。最近、注目されているバンコク近郊の町といえば、第二次世界大戦の戦跡があり、タイの歴史が垣間見られる「カンチャナブリー」、平和な田園風景が広がる「アムパワー」、古い商店街がある「コクレット」だ。どこもバンコクから数時間で行ける上、見どころも多い。これらの町には、日帰り旅行もいいが、時間に余裕があれば一泊すると、よりバンコクとの違いが分かり、その魅力を肌で感じることができるだろう。ただし、交通の便が良くないので、現地旅行社の一日ツアーに参加するのがおすすめ。

それでは、今から、バンコクとバンコクからのワンデイトリップを余すところなく紹介するとしよう。



# Remembering Bangkok

## バンコク旅行の必須マニュアル5



### きらびやかな王宮を散策

タイの観光地といえば、きらびやかなゴールドがひと際目を引くグランドパレス(Grand Palace)が最も有名だ。これらは、18世紀にラーマ1世がバンコクに都を定め、現在の王朝であるラタナコシン王朝を築いた際、国王が住む王宮と執事を行う施設として建てられたもの。グランドパレスの敷地内には、美しいエメラルド仏が安置されている寺院、ワットプラケオがあり、最大の見どころとして人気を博している。



### ショッピング天国

バンコクはリーズナブルなものも多く、あれもこれも買ってしまい、気づけば両手がショッピングバッグでいっぱいになっていることも。最近の人気ショッピングスポットといえば、スクンビット(Sukhumvit)19にあるターミナル21(Terminal 21)とチャオプラヤー川沿いに建つアジアティーク(Asiatique)だ。ターミナル21は、1階が東京、2階がロンドン、3階がイスタンブールと、各階ネーミングされているのが特徴。アジアティークは雑貨店が密集したショッピングビレッジで、敷地内は10区画に分けられており、グルメレストランや、ライトアップされる観覧車などがあり、夜になっても客足が絶えないほど人気を博している。

### 仏教国

タイは仏教徒が人口の95%を占める仏教国だ。バンコクの寺院は規模が大きく、最大かつ最古の寺院であるワットポー(Wat Pho)には、何と、全長46メートル、高さ15メートルの巨大な寝釈迦仏が安置されている。また、'暁の寺'との別称で知られるワットアルン(Wat Arun)は高さ104メートルで、仏塔を中国から贈られたという陶器で装飾しているのが特徴。夕方になると、チャオプラヤー川とともに夕陽に染まり、絵画のような風景を成すので、ぜひ観賞しよう。



### 癒しのスパ&マッサージ

ストレッチを含んでいるのが特徴のタイマッサージは、世界的にも定評があるため、市内のマッサージ店はいつも大賑わいしている。時間は30分から2時間程度で、料金はプログラム内容により若干異なるが、比較的リーズナブル。このため、バンコク滞在中に何度も施術を受ける観光客がいるとか。市内には高級でモダンなスパも多いので、ぜひ足を運んでみよう。

### 華やかなナイトライフ

眠らない街、バンコクでナイトライフを満喫したいなら、屋台が立ち並び、大型スクリーンを備えたパブやバーが軒を連ねる、外国人バックパッカーのたまり場、カオサンロード(Khaosan Road)がおすすめ! また、バンコクのクラブシーンを楽しみたいなら、バンコクで最も人気のあるクラブの密集エリア、トンロー(Thonglor)とエカマイ(Ekkamai)周辺へ行こう。中でも、デモ(Demo)、ファンキービラ(Funky Villa)、ミュージズ(Muse)、ナンレン(Nung Len)などのクラブが人気。DJ、サウンドともにハイレベルなので、バンコクの熱い夜を満喫できること間違いなし。



# ○ Kanchanaburi

## 歴史のある小都市 カンチャナブリー

カンチャナブリーは、戦争博物館や国連軍墓地など、戦争の悲惨さを今に伝えるスポットがたくさんある小都市だ。一方、市の北部は山岳地帯になっており、エラワンの滝で有名なエラワン国立公園や、タイで一番美しい鍾乳洞、タム・ダーオドゥンがあるサイヨーク国立公園など、風景明媚なスポットが多いことで知られている。

**行き方** バンコク南部ターミナルからカンチャナブリー行きのバスに乗車。所要時間約2~3時間



## 祖国に帰れなかった人々の墓 国連軍墓地 Allied War Cemetery

青々とした芝生の上にきれいな花々が咲き誇っているが、非常に厳かな雰囲気のあるここは、「死の鉄道」工事中に死亡した戦争捕虜のオーストラリア、オランダ、イギリス、アメリカ軍人6982名が眠る墓地だ。祖国に帰れず、見知らぬ土地に骨をうずめるしかなかった軍人たちの魂を、芝生の花々が静かに慰めている。なお、国連軍墓地はSusan Songkhram Chong KaiとSusan Songkhram Don Rakの2ヶ所にある。

**行き方** JEATH戦争博物館から徒歩5分 **開館時間** 8:00~18:00

## 戦争の産物 戦場にかける橋 Bridge On The River Kwai

「死の鉄道」を背景に日本軍、イギリス軍、米軍を描いた、名作中の名作として知られる1957年の映画<戦場にかける橋>にも登場した場所。映画の中に登場するクウェー川に架かるクウェー川鉄橋も「死の鉄道」の一部だ。現在は虹色の観光用列車が往来する観光地だが、この地の歴史について知ると、色んなことを考えずにはいられないだろう。橋の下の川辺にはレストランや土産物ショップが並んでいる。



## 痛みの記憶

### JEATH戦争博物館 JEATH War Museum

名称のJEATHとは鉄道建設に関わった国(日本、イギリス、オーストラリア、タイ、オランダ)の頭文字。館内には、第2次世界大戦当時、捕虜収容所だった竹小屋が再現されているほか、当時使用されていた道具や、当時の様子がわかる写真、絵、新聞記事なども展示されており、当時の残酷さを伝えている。博物館自体は小規模だが、後世に伝えるべき、意味のある展示がなされている。

**行き方** カンチャナブリーバスターミナルから徒歩15分 **住所** Wat Chaichumpol Bantai Muang Kanchanaburi **電話** 66-3-451-5203 **開館時間** 8:30~16:30 **入場料** 30/パーツ

## 7段の滝 エラワン国立公園 Erawan National Park

カンチャナブリーの自然を満喫するなら、エラワン国立公園がおすすめ。ここは、150メートルの高さから七段に分かれて落ちる滝があることで有名だ。熱帯植物が茂る散策路に沿って歩いて行くと、ひとつ、またひとつと、水しぶきをあげる滝が目の前に現われる。熱帯魚が戯れるほど水がきれいいため、水遊びを楽しむ人も多い。公園での時間を十分に満喫したいなら、敷物や軽食、水着などを持参していくのがおすすめ。

**行き方** カンチャナブリーから鈍行バス8170番に乗車。所要時間約1時間40分。 **住所** Mu 4 Tha Kradan Sub-district Amphur Si Sawat Kanchanaburi 71250 **電話** 66-3-457-4222 **入場料** 大人200/パーツ、子ども100/パーツ





## 変身する市場

### メークローン鉄道市場

Mae Klong Train Market

メークローン鉄道市場は、その名の通り、鉄道の上で開かれるマーケットで、1905年から続く伝統市場だ。果物、野菜、魚、肉、日用品などが売られている光景は、普通の市場と何ら変わらない。しかし、ひとたび列車の汽笛音が聞こえると、状況は一変する。何と、店主たちは広げていた商品を一齐に片付け、ゆっくりと走る列車が目の前を通り過ぎていくのをひたすら待つのだ。そして、列車が行ってしまうと、また商品を広げて、何事もなかったかのように営業を再開する。この珍しい光景を一目見ようと、世界中から観光客が足を運ぶが、ここに住んでいる人々にとっては日常の光景だとか。列車がここを通るのは6時、9時、12時、15時、18時の一日5回。駅で30分間停車した後、再び来た道に戻っていくので、列車の時間をあらかじめチェックしておこう。



## どこか懐かしい市場探訪

### アムパワー水上マーケット Amphawa Floating Market

アムパワー水上マーケットは、金曜から日曜の夕方のみオープンする市場で、昔ながらのマーケットの雰囲気が楽しめるため、バンコクなど都会に住む若者たちに人気。川の両側は、ごはんやおやつ、雑貨などを売る店が軒を連ねており、いつも多くの人々ににぎわっている。中でも、川沿いの小型ボート上で、香ばしいにおいを漂わせている焼きイカや焼きエビなどの魚介類が人気。メークローン川では、ツアー用ボートに乗ってクルーズが楽しめるほか、5月から10月までは、この辺りに生息する無数の蛍を観察することもできる。特に、蛍が木にとまって点滅しているその様子が美しいイルミネーションのようであることから「クリスマスツリー」と称されている光景が見ものだ。活気に満ちあふれた見どころ満載のアムパワー水上マーケットにぜひ出掛けてみよう。

# Amphawa

## 緑が美しい田園風景 アムパワー

穏やかに流れるメークローン川の向こう岸にある田園地帯、サムットソングラン(Samut Songkhram)周辺にあるアムパワーエリアは、バンコク市民も休暇に訪れる緑あふれる村だ。生活のにおいが漂う素朴なところなので、都会で忙しい毎日を送っている人なら、一気に気持ちが穏やかになるだろう。アムパワーでは、ホームステイができるほか、ゲストハウス、ミニホテル、リゾートホテルなどもあちこちにあるので、宿泊に困ることはない。鉄道市場や水上市場といった魅力的なマーケットもあり、観光も事欠かさない。アムパワー内は歩いて散策することも可能だが、日差しがきつい日は、三輪タクシートゥクトゥクを利用するのが便利だ。

行き方 バンコク南部ターミナルからアムパワー行きのバスに乗り。所要時間約1時間30分

## 菩提樹に保護されてきた寺

### ワットバーンクン Wat Bang Kung

本堂が、大きな菩提樹に覆われている神秘的な寺院。ここは、アユタヤ王朝末期には海軍基地、トンブリー王朝の1768年には、ビルマ軍との戦いで当時のタークシン王によって要塞が築かれたところ。その200年後にワットバーンクンが建立されたが、菩提樹がなくなったら、本堂はすでに崩れてなくなっていただろうといわれている。お香の香りに誘われて本堂の中に入ると、美しい金色の仏像が安置されている。



## ○ Ko Kret

### 川の中州 コクレット

コクレットはチャオプラヤー川周辺に水路を作った際にできた中州で、バンコク北部のノンタブリー(Nonthaburi)県に位置している。中国の少数民族であるモン族の居住地となったため、彼らが残した遺物が多い。島内は、狭い路地がいくつもあり、その両側に商店がずらりと並ぶ。食欲を誘う屋台や、土産物店、大小の寺院など、見どころ豊富。2時間もあれば、徒歩で島を一周することができる。

**行き方** バンコクから32番の一般バス、もしくは506番のエアコンバスに乗り。所要時間約1時間30分。もしくは、水上バスに乗ってノンタブリー船着場で降りて、ミニバスを利用



### 手作り工芸のコミュニティ

#### バティックファブリックハウス Batik Fabric House

コクレットに暮らす人々が制作した手作り工芸品を販売しているところ。また、村の女性たちが三々五々集まったり、工芸品作りの講義を聞いたりする、コクレット住民のコミュニティの場でもある。丁寧に作られたかごや、ファブリック財布、スカーフ、華やかなインテリア雑貨などがリーズナブルな価格で販売されている。



### 由緒ある寺院

#### ワットパイロン Wat Phai Lom

Wat Phai Lom

王朝末期の1700年代に建てられた寺院。ワットパイロンの中でも、僧侶が懺悔をしたり、授戒儀式を行ったりするウボソツ(Ubosoth)と呼ばれる建物が美しいことで有名。ウボソツの前には、モン族がピアト(Phia Toh)と呼ぶ、2つの小さな仏塔があるほか、寺院のあちらこちらにも個性的な仏像が安置されている。

### 願い事をしてみよう

#### ワットパラマイカワット

Wat Paramai Yikawat

アユタヤ朝後期の歴史を今に伝えるモン族スタイルの寺院。境内の一角には、コクレット島で発見された伝統土器や遺物を展示した博物館があるが、博物館よりも先に目につくのが寺院の前にそびえる菩提樹だ。赤や黄、緑などの帯に名前を書き、枝に結ぶ際、願い事をするとうやうやというが、既に菩提樹には多くの帯が結ばれていて、なかなか隙間を見つけることができない。ほとんどのタイ人はここで長寿を祈願するという。



### 陶器を焼く職人

#### ポテリービレッジ Pottery Village

コクレットといえば、モン族文化である素焼きの名産地として知られている。透かしの入ったものや、表面に手書きや押し型の模様が入ったものなど、職人が丹精込めて作った様々な陶器が売られており、お土産として人気。島内では、陶器を作っている様子を見学することもできる。



### スイーツの世界

#### ホームメイドデザート

Homemade Dessert

砂糖で味付けた卵の黄身を油で揚げた黄色いお菓子、フォイトングや、ココナッツで作った甘いゼリー、もち米で作ったカオニャオなど、さまざまなタイスイーツを扱っている。一般の店よりリーズナブルと評判。店内でイートインできるように小さなテーブルが用意されている。







## Plan for Travel

忙しい日常から離れ、ゆったりとした時間を過ごしながら再充電したいなら、台南ヒーリングの旅に出掛けよう。一方、活気ある街で、人のにおいを感じながら、さらに美味しいものを思い切り味わうなら、大阪グルメツアーがおすすめ。似ているようで全く異なる台南と大阪、この2つの都市が200%満足させてくれること間違いなし！



## 心と体が軽やかになる台南ヒーリング旅行

台湾の古都、台南。路地の入口ごとに建っている寺院や、築100年以上の建物など、ありとあらゆるものが、懐かしさを感じさせてくれる町だ。また、眺めているだけで爽快な気分させてくれる壮大な自然から、世界的に有名な温泉まで、心と体が癒されるスポットがたくさんあるのもうれしい。

**1DAY** 午前中 台北に到着後、台南へ移動

午後 台南のホットプレイス、神農老街を散策。住宅街の中に位置する手作り雑貨ショップやギャラリー見学。その後、100年を超える古民家を改築したバー**太古**でディナーを楽しむ

**2DAY** 오전 午前中 台南から約1時間30分行った先にある**関子嶺温泉**で炭酸泉を満喫し、心身の疲れを癒す。

午後 緑が美しい**紅樹林 綠色隧道** (マングローブのトンネル) を、ボートに乗って見学。夕方は、台南で最も歴史のある塩田、**北門井仔腳瓦盤塩田**へ行き、空と塩田を赤く染める夕日を觀賞

**3DAY** 午前中 寺院が1000あることから「千廟の城」と呼ばれる台南を見学。パートナーが欲しいシングルは、**大観音亭**に立ち寄って縁結び祈願をしよう。また、職場の上司と馬が合わず頭が痛めている人は、重慶寺を訪れて、円満解決できるようお願いしてみよう！

午後 台南から台北へ移動。台北を出発し、日本へ

## うまいものを堪能する大阪グルメ紀行

美味しい物が多いことで知られる大阪。世界的にも知られている、お好み焼き、回転すし、しゃぶしゃぶ、オムライス、うどんの寄せ鍋などは、すべて大阪発祥の食べ物だ。また、ラーメンや、かに料理、ふぐ料理などの有名店もあり、通りを歩いていると、どの店で何を食べようか迷ってしまうほど。大阪の美食バレードに身をまかせ、味の饗宴にどっぷりとつかってみたい

**1DAY** 午前中 大阪到着

午後 関西空港から難波駅へ。駅周辺を散策したら道頓堀へ行き、にぎやかで個人的な食堂街を見物したり、屋台グルメを楽しんだりしよう。その後、ドラッグストアやドンキホーテで日用品やお土産を買い物。夕食は、大きな緑の龍が目印の**金龍**ラーメンでどうぞ

**2DAY** 午前中 心齋橋のカフェでモーニング。週末はパフォーマンスやフリーマーケットが開かれるアメリカ村まで足をのばそう。ランチはオムライスの発祥地として知られる**北極星**でオムライスを堪能

午後 大阪の庶民の生活が垣間見られる新世界を散策。安くて美味しいものが揃った**じゃんじゃん横町**で、たこ焼きや串カツなどをつまもう。晩ごはんは大阪グルメの代表格、お好み焼きを食べよう

**3DAY** 午前中 梅田駅から徒歩15分の距離にある中崎でカフェ散歩。昼食は、和食、中華、洋食など約110種類の料理が食べ放題の**オリンピア**がおすすめ。その後、梅田駅周辺のショッピング街を散策

午後 大阪を出発

## Inside TAINAN

心と体を癒してくれる台南

### ヒーリングスポットベ スト5

#### 雰囲気がいっぱい 太古

築100年の古民家を改築したバー。静かで落ち着いた雰囲気の店内では、ビールやウォッカ、ハウスワインなどを楽しむことができる。向かいの2号店はカフェになっており、ケーキやコーヒー、ティーなどのメニューがある。ビンテージインテリアを設えたおしゃれな雰囲気の中で、ゆっくりとお茶ができるので、人気。

**1号店 住所** 台南市中西区神農街94号 **電話** 886-6-221-1053 **営業時間** 月~木18:00~翌2:00、金曜日18:00~翌3:00、土・日曜日16:00~翌3:00 **価格** ウォッカ、ラム、ジン200~300ニュータイワンドル

**2号店 住所** 台南市中西区神農街101号 **電話** 886-6-221-7800 **営業時間** 月~木曜日13:00~22:30、金曜日12:00~翌1:00、土・日曜日12:00~22:30



#### シングルの人におすすめ 大観音亭

観音菩薩を主祀とする17世紀に建てられた寺院。観音様の前に、未婚の男女に赤い糸を授ける月下老人を祀っている。この月下老人は口が大きく、腰の周りには「百年偕老」、「二姓合婚」と書かれた帯を結んでいる。台湾では、大きな口をしていると仲人に優れているとされており、この月下老人は月老界の首位打者と呼ばれている。パートナーや好きな人がいない人は、お参りをした後、月下老人の赤い糸を大事に持っておくと、ご利益があるといわれている。

**住所** 台南市成功路86 **電話** 886-6-228-6720 **参観時間** 7:00~21:00 **ホームページ** [www.da-shing.org.tw](http://www.da-shing.org.tw)



#### マッドの効能 関子嶺温泉

台南から約1時間30分の距離にある関子嶺。ここでは、台湾有数の温泉地で、世界でも珍しい泥温泉を楽しむことができるところだ。新陳代謝を高めるほか、肌を滑らかにする効果があるといわれる泥温泉に入れば、心も体も癒されること間違いなし。周辺には温泉ホテルがずらりと並んでいるので、宿泊するのもおすすめ。

**行き方** 台南駅から列車で新営まで行き、バスに乗り換え、関子嶺駅で下車

#### 幻想の塩田夕日 北門井仔腳瓦盤塩田

台南で一番古い塩田。かつては、太陽熱がよく吸収できるように、塩田の底にタイルを敷き、大量の天日塩を生産していたというのが、台湾の塩産業の衰退により、現在は、柄ぶりを引き、塩を採取する昔ながらの塩田体験ができる観光スポットとして機能している。また、夕方になると、真っ白な塩田に夕日が映えるため、絶景スポットとしても有名。天気の良い日は、より鮮明で幻想的な色感をかもし出すので、ぜひ訪れたい。

**行き方** 台南駅からジャリ線のシンナンバスに乗り、ペイメン駅で下車。**住所** 台南市北門区永華里井仔腳 **電話** 886-6-786-1629



#### 静かな森 紅樹林 綠色隧道

紅樹林はマングローブ、隧道はトンネル。すなわち、紅樹林綠色隧道は、亜熱帯地域の河口汽水域塩性湿地に生える、マングローブによる緑のトンネルを意味する。マングローブは台湾指定保護樹種で、実が大きくなると水に落ち、そこからまた伸びはじめるのが特徴。

紅樹林綠色隧道は、規模はそれほど大きくないが、きれいな緑色をしたトンネルは独特の景観をしていて、ロマンチックな雰囲気。ガイドと一緒になら、小型ボートに乗って30分ほど見学ができる。

**住所** 台南市安南区四草里大衆路360号 **電話** 886-6-284-1610 **営業時間** 08:00~16:30 **料金** 大人150ニュータイワンドル



## あれもこれも食べたい人向け オリンピア

ホテルニュー阪急大阪の地下にあるビュッフェレストラン。ここでは、和食、中華、洋食など、約110種類の料理が食べ放題！中華と洋食の品数も見事だが、寿司、牛ステーキ、蕎麦、天ぷらといった和食のラインナップが特に充実している。スイーツコーナーでは、その時々々のフェアに合わせて、シェフがデザートパフォーマンスを披露してくれる。

住所 大阪府大阪市北区芝田1-1-35地下1階 電話  
06-6372-5240 ホームページ [www.hankyuhotel.com/hotel/osakashh](http://www.hankyuhotel.com/hotel/osakashh)



## オムライスの発祥地 北極星

オムライスの発祥地として知られる店。1925年、胃が弱い常連客がいつも白ごはんとおムレツばかり頼んでいたため、店主が「いつも同じものばかり食べてはかわいそう」と、マッシュルームとたまねぎ、ごはんを炒めて、トマトケチャップライスにしたものを、薄焼き卵で包んで出したのがその始まり。今や、北極星の特製オムライスを味わおうと、遠方からも来店するほどの有名店に。オムライスに、ミニハンバーグとサラダ、飲み物がついたランチセットがお得。

住所 大阪府大阪市中央区西心斎橋2-7-27 電話 06-6211-7829 ホームページ <http://hokkyokuseijp>

## 心斎橋の有名店 金龍ラーメン

大きな緑の龍が目印のラーメン店。中は座敷になっており、靴を脱いで畳に上がり、麺をすするのが特徴。代表メニューの金龍ラーメンは、とんこつベースの醤油味で、チャーシュー大盛り、麺大盛りなどが可能だ。とんこつベースの割に、あっさりした味わいなので、外国人旅行者にも人気。自販機で食券を購入し、カウンターで注文しよう。

住所 大阪市中央区道頓堀1-7-26 電話 06-6211-3999



## Inside OSAKA

味覚を刺激する大阪

美味しい店4軒



## 旨いものが揃った通り ジャンジャン横丁

串カツを揚げる香ばしいにおいが漂うじゃんじゃん横町は、新世界の南側に位置し、地下鉄動物園前駅から通天閣まで南北約180メートルにのびたアーケード。正式名称は南陽通商店街というが、戦後、店々から呼び込みのための三味線や太鼓の音がジャンジャンと響いていたことから、その名がついたといわれている。通りには、串カツ、お好み焼き、たこ焼きなど、庶民グルメを代表する店がずらりと並ぶ。安い食堂が多いので、昼食や夕食時に立ち寄ってみよう。

場所 地下鉄動物園前で下車

### 大阪の立ち食い料理リスト

#### ミニお好み焼き キャベせん

お好み焼きの縮小版。キャベツがたっぷり入っているが、サイズ自体は小さい。おやつにぴったりのB級グルメとして知られている



#### 粉モノの代表格 たこ焼き

日本の屋台おやつ代表格であるたこ焼き。会津屋の初代遠藤留吉が、肉やコンニャクなどを入れて焼いたラチオ焼がその原形。しかし、より美味しいものが提供できないかと、留吉が思案を重ねた結果、「明石のたこ」と「ころも」に味をつけて焼いた、今のたこ焼きが誕生したと言われている。



#### カリッと揚がった 串カツ

字のごとく串に肉や野菜を刺して、油で揚げた料理。新世界に串カツ屋はたくさんあるが、じゃんじゃん横町にある店が特に有名。注文してから揚げてくれるので、あつあつサクサクが食べられる。ソースの二度づけは禁止されているので、注意しよう。



#### 飽きのこないおやつ たい焼き

たい焼きは、いわずと知れた日本を代表する和菓子で、主に冬に好んで食べられる。中にあんこが入っているのが一般的だが、近年はカスタードクリームやチョコ、抹茶入りなど、バリエーションが豊富。冷めてもおいしく、飽きのこないおやつとして親しまれている。

中国芸術の中心地

# 上海 建築 & アートツアー

千の顔を持つ都市、上海は、いつ訪れても、魅力的で新奇な旅行地だ。近年は、アート的发展に力を入れており、世界中のアーティストが集まって形成したギャラリー街や、中国現代美術に触れることができる制作スタジオ密集地など、最新のアートが鑑賞できるスポットがあちこちに存在する。アート巡りをしながら、中国アートの中心地、上海の魅力を思う存分感じてみよう。





### 芸術が満ちあふれるメトロポリタン

急速に進化し続けている街、上海。かつて荒野だったこの地は、現在、超高層ビルが林立する「建物の森」と化し、今なお、より華やかで雄大な姿に変貌を遂げ続けている。そんな上海の見どころといえば、黄浦江の西岸に位置する観光地、外灘（ワイタン）だろう。ここは、19世紀後半から20世紀前半にかけて租界地区だったところで、現在も、1920年代にイギリスで流行した新古典主義建築や、1930年代のアメリカでよくみられた近代高層建物、ギリシャ神殿を彷彿とさせる広い階段、彫刻で装飾された外観、アールデコ様式の内装が目立つ建物など、世界建築博覧会場ではないかと錯覚してしまうほど、多彩な建物が並んでいる。

外灘は夜になると一斉にライトアップされ、約1.5キロの川辺はロマンチックな雰囲気になるので、ぜひ鑑賞しよう。

このほか、上海のアートスポットといえば、上海最大の中国現代美術作品が集まったギャラリー街、莫干山路50号も有名だ。1930年代に建てられた複数の国営紡績工場や倉庫の跡地に、アトリエやギャラリーなどが集合したアート地帯で、広さは約4万1000平方メートルにも及ぶ。2002年から上海市政府主導のもと、現在の姿へと発展してきた。今では、東洋のパリとも呼ばれている莫干山路50号で、最先端のアートに触れたい。

## Hot Spot:

**Shanghai's Building**

中国人の出入りを規制していたかつての勢力は消え、現在は、旅行者を引きつけてやまない上海きっての観光地になった外灘。ここに位置する代表的な建築物を紹介しよう。

**東洋の真珠 東方明珠** Oriental Pearl Tower

上海のランドマークであるオリエンタルパールタワー（東方明珠電視塔）は、建物のその形から東洋の真珠と呼ばれている。高さは約470メートルで、世界で3番目に高いテレビ塔だ。完工は1994年で、350メートルの高さに設置された太空艙と呼ばれる回転式の展望台からは、上海市内全体を眺望することができる。太空艙以外にも、上球体（263メートル）など、11の球状建物が設置されている。

行き方 陸家嘴駅1番出口を出て、銀城北路に沿って徒歩3分 ホームページ [www.opg.cn](http://www.opg.cn)

**イギリス式ネオクラシック****ウォルドルフ アストリアホテル&リゾート** Waldorf Astoria Hotel & Resort

1910年に完工したイギリスネオクラシック様式の建築物で、かつてはイギリス人の社交クラブとして使用されていた。現在は、ヒルトングループのラグジュアリーブランドであるウォルドルフアストリアホテルになっているが、地元では依然として「上海クラブビル」と呼ばれている。1階のロビーと階段には、シチリアから空輸したという大理石を使用しており、ゴージャスな雰囲気を出している。また、2階の「ロングバー」は、カウンターの長さが30メートルにも及び、建築当時は、世界最長を記録していた。

位置 バンド2番地 ホームページ [www.waldorfasteriaglobalmediacenter.com](http://www.waldorfasteriaglobalmediacenter.com)

**ラグジュアリーを満喫する****ザ・スリーオンザバンド** The Three on the Bund

外灘の中でひと際目を引く建物といえば、ザ・スリーオンザバンドだ。ポストルネサンススタイルの7階建て建造物で、1916年建設当時、鋼鉄フレーム構造(キューポラ)を活用した最初の建物として話題になった。現在は、アルマーニのフラッグシップストア、エヴィアンスパ、上海ギャラリーオブアートが入店しているほか、ラリス (Laris)、黄浦会 (ワンポアクラブ)、ジャン・ジョルジュ (Jean Georges)、ニューハイツ(New Heights)の4つの高級レストランが入ったセレブな複合ビルとしてその名を馳せている。

位置 バンド3番地 ホームページ [www.threeonthebund.com](http://www.threeonthebund.com)

**黄浦江岸の美学****上海浦東発展銀行** Shanghai Pudong Development Bank

1923年に建設された建物で、黄浦江岸のネオ・クラシシズムの中で最も美しい建物と言われている。完工当時は、香港上海銀行(The HSBC Building)として世界最大規模を誇っていた。設計はイギリスの建築家パーマー&ターナーが担当。外観には新古典主義建築のデザインが採用されており、中央の屋根部分のドームとビル玄関の両脇に設置されたライオン像が特徴だ。

位置 バンド12番地



Art:

## Pump your Creativity

上海にはさまざまな国のアーティストが滞在しているため、アートの現場ではクリエイティブティターのシナジー効果が生まれている。彼らの情熱に触れていると、こちらの芸術的感性までもが引き出されるようだ。

### ニューヨークにはMoMA 上海にはMoCA

#### 上海当代美術館(上海現代美術館) MoCA

緑豊かな人民公園の中に位置する美術館。ガラス張りの現代的な建物がひと際目を引くここは、台湾事業家のクン・サミュエル氏の個人資本で建てられた非営利の美術館だ。中国内外の現代アート、アニメ、映像、デザイン展など、斬新かつ奇抜な企画展が毎回開かれるため、中国アートファンやコレクターから大注目されている。アートを通して中国の今を観て見よう。

住所 上海南京西路231号人民公園200003 電話 021-6327-9900 開館時間 月~金曜日10:00~18:00(毎週水曜日は20時までオープン、展覧会によって開館時間が変動する) 入場料 大人20元、学生10元(学生証提示時)



## 現代アートストリート

### M50 莫干山路50号

「M50」の愛称で親しまれている莫干山路50号は、もともと紡織工場地帯だったが、2002年に上海芸術特区として新しく生まれ変わった。現在は、中国現代美術の新鋭アーティストはもとより、世界各国からアーティストが集まり、巨大なギャラリー街を形成している。ほとんどのギャラリーはアトリエが併設されているため、作品のみならず、制作空間や制作過程なども観ることができる。

行き方 上海駅からタクシーで5分



### デザインに関心があるなら

#### 紅坊 Red Town

入口にある「紅坊」の赤いアーティスティックな看板が目印。M50同様、工場地帯をギャラリー街にしたところだ。M50に比べると、アーティストの制作空間が中心といった印象で、創意的かつ面白い造形物がいたるところにある。ギャラリーのほかに、ユニークな小物を扱うアートショップや、デザイン書籍を専門に扱う書店、ブックカフェなどがあるので、ショッピングやカフェで読書など、思い思いの時間を過ごすことができる。

住所 上海市長宁区淮海西路570号(近虹橋路) ホームページ [www.redtown570.com](http://www.redtown570.com)



### 路地裏の中のギャラリー 泰康路 田子坊

1930年代、泰康路は寂しい工場地帯だったが、1999年に中国油画家の最高峰の一人であり、事業家でもある陳逸飛が、この地にアトリエを構える。すると、同じくここを拠点とするアーティストが一人二人と増えていき、いつしか芸術エリアと呼ばれるまでに至った。泰康路は、庶民が集まって形成された路地裏「弄堂」が存在するところで、ギャラリーはその中に軒を連ねている。上海の若者の間で、一番ホットなスポットなので、ぜひ訪れてみよう!

行き方 陝西南路駅で下車で、タクシーを利用 住所 上海市泰康路210弄

アウトドアライフ  
キャンプの再発見

# Go Camping!

キャンプといえば、かつては西洋の文化というイメージがあったが、アジアでもキャンプブームが起こり、最近ではアウトドアの代名詞にもなっている。少し前までは、道具一式をリュックに入れて、キャンプ場まで担いで行ったものだが、トレンドとして注目を集めている昨今は、高級ホテル並みのサービスが受けられるグランピングから、車を乗り入れられるオートキャンプ、ザックの中を軽量コンパクトにして旅立つバックパッキングまで、その種類は多彩になっており、形態もどんどん進化している。アウトドアが心ゆくまで楽しめる、アジアで人気のキャンプ場を、TPO会員都市から選んで紹介する。



ここ数年、キャンプ旋風が巻き起こっている。もともとヨーロッパや北米から始まったブームだが、ここに来て、アジアにも波及し、週末や休日になると、テントを持って山や海に出掛ける人が増えている。

以前、キャンプといえば、野外にテントをはり、携帯用の小型アルミ調理器具、コッヘルで料理をする、という程度のものだったが、今では、テントとは別にキャビンなどが用意されていて、マッサージサービスを受けられるところがあったり、シェフがついて料理やドリンクが注文できたりするところもあるほど。また、キャンプ道具が軽量コンパクト化されているのも見逃せない。

キャンプと一言でいっても、その時々によってトレンドがある。少し前までは車に乗って移動するオートキャンプが人気だったが、今は、豪華なグランピングと、最小限の道具だけを持って出掛けるバックパッキングがブームだ。

日々進化しているキャンプ。その魅力は、忙しい日常を送る人々が持つ自然への憧憬と癒しを求める心を、うまく満たしてくれるところにあるのかもしれない。





## 荷物を一切持たずに 出掛けるグランピング

グランピングとは、グラマラスキャンピングの略で、キャンプ場のサービスを高級ホテル並みにしたラグジュアリーキャンプのことだ。日中は、バーベキューを楽しんだり、アクティビティを体験したりと、ダイナミックな自然を満喫し、夕方からの時間は優雅なホテルで過ごすというもの。ヨーロッパやアメリカでは既に一般的になっているが、最近はこのスタイルがアジアでも注目されはじめている。キャンプ場までは、ホテルから送迎車が出ているほか、食料からキャンプの道具まで、必要なものがすべて揃っているので、キャンパーは何の準備をしなくても、雄大な自然の中で、豪華な休暇を楽しむことができる。なお、ほとんどのグランピングにガイドが付いているものうれしい。そんなグランピングが楽しめる場所として、人気を集めているのが、バンコクのプラプラデー郡にあるツリーハウスだ。プラプラデー郡とは、バンコクを流れるチャオプラヤー川が、河口に向かって大きく蛇行する内側部分の半島のようなエリアで、手つかずの自然や小さな果樹園があるところとして知られている。プラプラデー郡の、マングローブとココナツの木が生い茂るジャングルの中に位置するツリーハウスは、施設の電気をすべて太陽光発電と風力発電で賄っ

ているエコリゾートで、地元の竹材をインテリアに使っていたり、ジュースや牛乳の紙パックを建物の断熱材に再利用していたりと、地球にやさしい造りになっている。徹底したエコ対策を行なっているながらも、おしゃれでくつろげる雰囲気なので、格別なグランピングを楽しむことができるだろう。

フィリピンのナーチャースパビレッジ (Nurture Spa Village)も、グランピングの名所として知られているところだ。ルソン島中央部のタガイタイ(Tagaytay)に位置するここは、無料の朝食や、スパ、フィットネス、バーベキューなど、さまざまなサービスが受けられるので、日常生活からひと時離れて、癒されたい人向け。

グランピングブームは、中国にも波及している。中でも、多くの人々が訪れるところが、海南島の三亚にあるナンシャンツリーハウスリゾート&ビーチクラブ (Nanshan Treehouse Resort and Beach Club)だ。何とこは、熱帯フルーツの「タマリンド」という常緑高木の上に宿泊施設が建っているという、まるでおとぎ話に出てきそうなりゾートだ。部屋までは、木橋を渡って行くなど、自然の中にある施設ならではの楽しい工夫もなされている。近くには海岸もあり、ロケーションも抜群。中国でグランピングをするなら、ナンシャンツリーハウスリゾート&ビーチクラブがおすすめだ。



## 家族全員で楽しめるオートキャンプ

オートキャンプとは字のごとく、テントサイトまで車を乗り入れることができるキャンプ場のことだ。オートキャンプといえばキャンピングカーを想起させるが、テントを積んだレジャー用途向け車両で訪れる人も多い。重いキャンプ道具を車で運搬できるなど、移動が楽なので、子ども連れのファミリー向けキャンプとして人気を博している。

アジアの中でも、最先端のオートキャンプ文化を有している日本には、多くのキャンプ場があるが、中でも話題になっているのが、大阪市内から車で約1時間半の距離にある光滝寺キャンプ場だ。滝畑ダムの上流にあるオートキャンプ場で、バンガロー24棟や、シャワー室、オークテントなども完備されていて、便利。キャンプ場からそう遠くない場所に、「大阪みどりの自然100選」にも選ばれた滝畑ダムと滝畑四十八滝があるので、足を延ばすキャンパーも多い。

お隣の国、韓国で人気を博しているのは、山と水がきれいなことで知られる江原道に位置する韓国初のオートキャンプ場、マンサンオートキャンプ場だ。きちんと区画されたキャンプサイトには、キャンピングカー約200台とテント約300棟が収容できるほか、キャンプ客のみが利用できるビーチや、インラインスケートやサッカーが楽しめるフィールド、カフェなどの付帯施設もあり、国立公園内オートキャンプ場の中では最大規模を誇っている。キャンプ場からは荘厳な風景の小金剛オートキャンプ場（ソグムガン）を眺めることができるほか、近隣に位置するマンサンビーチでは、さまざまなマリンスポーツが楽しめるなど、青い海と緑を思い切り満喫することができる。景色、施設ともに素晴らしいため、口コミでうわさが広がり、週末は予約が取れないことも。



## バックパックで一人旅

もともと「背負って運ぶ」ことを意味するバックパッキング。現在では、バックパック（リュック）を背負って、公共交通機関を利用して移動したり、ゲストハウスやユースホステルなどの安宿に宿泊したりしながら外国を旅することを指す言葉としても使われている。バックパッキングは、丈夫な足、体力、軽量でコンパクトな装備の3つさえあれば可能なので、気楽に一人旅をしたいソロキャンパーにぴったりの旅スタイルだと言えるだろう。

中国の大連から東北に約50キロの黄海沿岸に位置する金石灘は、国家級の景勝地と定められた観光リゾート地。観光区内にある十里黄金ビーチには、夏になると、多くの人が殺到する人気の大規模キャンプ場がある。近くでは、神が作った彫刻公園と呼ばれている、約3～9億年の歳月をかけて形成された奇岩怪石があるので、キャンプがて

ら、自然の芸術作品もゆっくり鑑賞したい。

バックパッカー御用達のキャンプ場といえば、キャンプ天国と呼ばれる熊本県にある、南阿蘇ピラミッドも有名だ。世界最大のカルデラ活火山である阿蘇山のふもとにあるキャンプ場で、雄大な山の景色を眺めながらキャンプが楽しめるスポットとして人気を博している。施設内には、タープ、寝具、バーベキューコンロ、毛布など、キャンプに必要な道具の数々が備わっていて、キャンパーはいつでも利用することができて便利だ。

最後に韓国第二の都市、釜山にある楽園農園キャンプ場を紹介しよう。ここは、静かな森の湖畔にあり、心身ともにのんびり過ごせることから、年中、多くのキャンパーで込み合う人気のキャンプ場だ。予約制でなく、先着順なので、シーズン中は朝早くから陣取りに行きたい。利用者にはトイレトペーパーとミネラルウォーター2本が配られるというサービスも実施している。



## 今、キャンプの時代

キャンプは、仲間との協同生活を通して、自然への理解を深めたり、感性を養ったりできるアウトドア活動だ。今では、暮らしの中に溶け込み、アジア人の生活をも変化させているキャンプ旅行だが、この先ますます進化を遂げていくだろう。テントサイトまでの車の乗り入れを可能にしたオートキャンプの登場は、水上レジャー用品を持ち込むキャンパーを出現させるなど、過ごし方や持参道具に変化をもたらしたが、今後もこうしたキャンプの形態は進化していくだろうし、それにともない、道具も発展し続けるだろう。実際に、エコキャンプや、奥地キャンプ、キャラバンキャンプなど、その形態は、既に多様化しており、キャンパーの選択肢はどんどん広がっている。これからは自身の好みと目的に合った自分スタイルで楽しむことが、キャンパーたちのトレンドになるだろう。



# 09 September 2013

## Festival Calendar

浦項 韓国

8月30日~9月30日

**浦項スチールアートフェスティバル**

場所 迎日海水浴場、浦項運河一帯

大きな製鉄所があることで知られる浦項の文化と哲学を取り入れて開催される、世界唯一のスチールフェスティバル。'新鉄器時代の鍛冶屋'というテーマで繰り広げられる今年のフェスティバルには、約30名の韓国アーティストが参加し、様々な作品で都市を彩る予定だ。8月30日から9月30日までの32日間開催され、開幕式、作品ツアー、鍛冶屋の鉄工芸製作所、アート遊びなど、多彩なイベントも用意されている。



ジャカルタ インドネシア

9月1日~9月8日

**ジャカルタ日本祭り**

場所 JS Luwansaホテル、プラザセナヤンなど

インドネシアで日本文化を感じることができるイベントといえば、ジャカルタ日本祭りだ。日本とインドネシアの国交樹立50周年を記念して、2008年から開催されている本フェスティバルは、今年で5回目を迎える。今年は、国交樹立55周年を記念する祝賀イベントが開かれるほか、日本の食べ物や祭りなど、様々な文化が紹介される予定だ。



光州 韓国

9月6日~9月7日

**光州ワールドミュージックフェスティバル**

場所 全南大学、アジアムヌアムルーム

世界各国の音楽文化が一堂に会すミュージックフェスティバル。今年のテーマは、各国、各地域の民俗音楽をルーツにもつ「ワールドミュージック」で、韓国、中国、日本、東南アジア、アフリカなど、世界各国からミュージシャンが参加する。主宰側は今回のイベントを通して、韓国の音楽文化を世界に発信すると同時に、グローバルワールドミュージック市場において、韓国の伝統音楽、国楽の地位を確固たるものにする足がかりにしたいと考えている。



釜山 韓国

9月14日~10月13日

**2013 海美術祭**

場所 松島海水浴場一帯

記憶と痕跡、人間をテーマにした様々な作品が展示される海美術祭は、釜山の松島海水浴場一帯で開催される。9月14日から10月13日まで30日間にわたって行われる今回のイベントでは、松島海水浴場の過去、現在、未来をテーマに制作された作品約35点がビーチに設置されるほか、市民参加型の様々な体験イベントも催されるので、松島海水浴場を訪れた際には、ぜひ見学、参加してみよう。



バンコク タイ

9月13日~10月14日

**インターナショナルダンス&ミュージックフェスティバル**

場所 タイカルチャーセンター

バレエや現代舞踊、オペラ、クラシック、ジャズコンサートなど、多種多様な文化芸術が一堂に会すダンス&ミュージックフェスティバルが、バンコクで開催される。15回目を迎える今年は、ヨーロッパ、アジア、アメリカなどから数百名のアーティストが参加し、5週間にわたって様々な公演をくり広げる予定だ。毎日異なる公演が開かれるが、休演日もあるので、あらかじめスケジュールを確認しておこう。



イルクーツク ロシア

9月中(日は未定)

**スターズオンバイカル**

場所 未定

今年で8回目を迎えるイルクーツク国際ミュージックフェスティバル、スターズオンバイカル。今年は12公演のコンサートが開かれる予定で、参加ミュージシャンのリストには、世界的に有名な巨匠から若手アーティストまで、様々な名前が挙がっている。中でも、今年は世界的なピアニスト、デニス・マツエフが参加を予定しており、期待が高まっている。

# 10,11

October, November 2013



安東 韓国  
9月27日~10月6日  
**安東国際仮面劇フェスティバル**  
場所 安東市内、仮面劇公演、河回村など

韓国内外の公演団が民俗劇公演を披露する安東国際仮面劇フェスティバルは、河回村はもとより安東を代表する文化祭りだ。中でも、韓国の重要歴史文化財に指定されている「別神グッ(祈禱の儀式)仮面劇」は、ダイナミックな動きと静寂さの両方が組み合わさった素晴らしい劇なので、秋の安東で、ぜひ観賞したい。

ホーチミンベトナム  
10月11~12日、15~19日  
**オクトーバーフェストベトナム**  
場所 ウィンザープラザホテル ジェイ  
イドボールルーム

ドイツのミュンヘンで開催される世界最大規模の祭り、オクトーバーフェストが、ベトナムのホーチミンでも楽しめる。ベトナムドイツ企業協会が主催するイベントで、醸造した各種ドイツビールやドイツの郷土料理と一緒に、ベトナムの伝統料理を味わおうというものだ。会場では、ドイツの民俗音楽も演奏されるので、ライブとビールを心ゆくまで堪能したい。



益山 韓国  
10月25日~11月3日  
**益山千万本の菊祭り**  
場所 中央体育公園

益山千万本の菊祭りは、秋を代表する花、菊を愛でるイベントで、全羅北道の益山で開催される。秋が深まる10月末に行なわれ、約12本の菊を、作品展示会や優秀作品展示会、農業特産物直取引市場を通して観賞することができる。中でも、菊を用いて作った弥勒寺址石塔や、王宮里五層石塔、幸せの城などが見もの。

大田 韓国  
10月3日~10月6日  
**大田国際フード&ワインフェスティバル**  
場所 大田貿易展示館、大田コンベンションセンター、エキスポハンピツ広場

韓国最大規模のフード&ワインフェスティバル。ワインと東西文化の出会いをテーマに、韓国の伝統酒や日本酒、コーヒー、お茶など、様々な飲み物から、パン、チョコレート、ワインアクセサリなど、ワインに関連した様々な商品が展示される。韓国ソムリエ大会やワインセミナー、ワインSPAなど、多彩なイベントも開催される。



コタキナバル マレーシア  
10月3日~10月10日  
**コタキナバル国際フードフェスティバル**  
場所 タタラムハンマドー帯

コタキナバルの新名物、国際フードフェスティバルは、中国、アラブ、タイ、日本、インド、マレーシアなど、世界各国が参加し、伝統食の展示、販売を行なうというもの。今年のイベントには約80ブースが出る予定で、フードからドリンク、各国の伝統手芸品まで、多彩な展示を楽しむことができる。



ジャカルタ インドネシア  
10月27日  
**ジャカルタマラソン**  
場所 ジャカルター帯

アジアスポーツのメガイベントと評価されているジャカルタマラソンが、10月27日にジャカルタにて開催される。毎年約40ヶ国の選手が参加する本大会を一目見ようと、沿道には多くの人が集まり、盛り上がりみせる。今年はジャカルタ大聖堂、オールドパタビア、イスティクルラルモスクなど、ジャカルタを代表する有名観光スポットがマラソンコースに含まれるので、応援しながら、観光するのもいいだろう。

昌原 韓国  
11月14日~11月17日  
**慶南特産物博覧会**  
場所 昌原コンベンションセンター

11月14日から4日間にわたって開催される慶南特産物博覧会は、慶尚南道全域の農畜水産物や工芸品、市郡観光商品などが一堂に会すイベントだ。2013オーガニック農産物ブランド大会、海外バイヤー招請購買相談会、ブランドフルーツ品評会なども催されるので、ぜひ訪れたい。





## 新疆, 中国

### 新疆～チャイニーズタイペイ間に 定期路線新設

この4月に、中国の新疆とチャイニーズタイペイを結ぶ中国南方航空の定期路線が開設された。ウルムチ国際空港と台北国際空港をつなぐ路線で、新疆から台北までの初めての直行定期路線となる。中国南方航空の新疆分公司によると、就航当日は搭乗率の90%にあたる173名の旅行客が搭乗した。

本路線には、ボーイング757型機を投入し、運行日は毎週月、水、土曜日で、毎回約400名の乗客を輸送する。新疆とチャイニーズタイペイの旅行関係者は、新疆からチャイニーズタイペイへ行く旅行者の数が、今年は約3万人に達するのではないかと期待している。また、政治、経済、文化など、各方面での交流も活性化するだろうと見込んでいる。

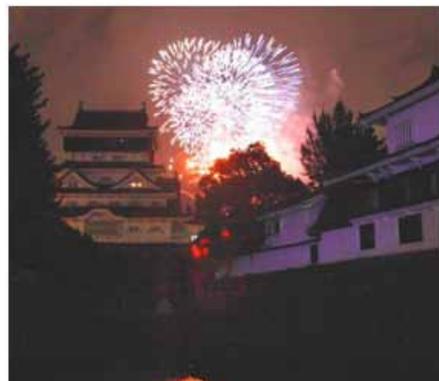


## 上海, 中国

### TPO Travel Trade 2013 China開催

TPOの中国海外共同マーケティングイベントであるTPO Travel Trade 2013 Chinaが、去る5月8日から12日までの5日間、中国上海で成功裏に開催された。今回は、TPOの韓国会員都市である釜山、群山、金海、全州、安東の5都市が参加し、それぞれの観光資源をPRしたほか、中国観光客誘致のためのマーケティング活動も展開した。5月9日には、ファッションホテルでTPO会員都市観光交易説明会が行われ、TPOと国旅集団上海有限公司（以下CITS）は、協力のための了解覚書（MOU）を締結した。TPOおよび会員都市5都市と上海CITSは、今後、旅行商品開発や情報交換、広報活動などで協力していく方針だ。

今回のイベント期間中、TPOは上海世界旅游博覧会で参加都市共同ブースを運営し、一般参加者を対象に、TPO会員都市の観光資源や商品などの紹介も行った。

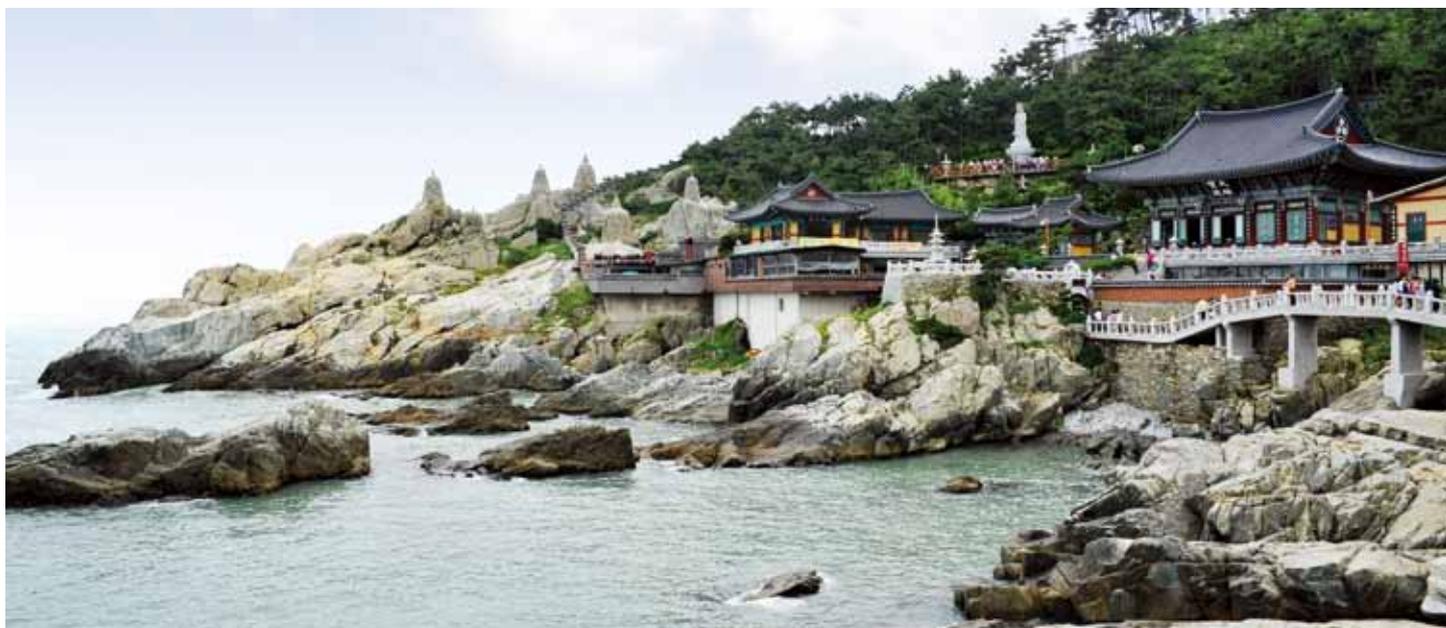


## 北九州市, 日本

### 大規模な夏祭りが盛大に開かれる

8月第1土曜日と日曜日に、「わっしょい百万夏まつり」が開催された。これは、小倉祇園太鼓や黒崎祇園山笠など、北九州市内各地区を代表する祭りが一堂に会する大規模な夏祭り、小倉一帯で開催される。今年は日本全国から約150万人が訪れ、ダンスコンテストやストリートパフォーマンスなど、多彩なイベントが繰り広げられた。中でも、最大の見ものは本祭りのメインイベントである「百万踊り」や、電飾や造花など

で華やかに装飾された車両が運行される「花自動車」、今年で11年目を迎えたダンスイベント「わっしょいYOSAKOI北九州」などだ。フィナーレには、約6000発の花火が打ち上げられ、夜空を彩った。



## 釜山, 韓国

### Tourism Universiade 2013が 盛況のうちに終了

TPOと釜山広域市の東明大学が共同で主催した Tourism Universiade 2013が、去る7月24日から26日まで、釜山女子大学と東明大学で行なわれた。今回は、「We are the Future Tourism Leader」とのテーマの下、アジア太平洋都市地域の学生の文化観光交流と観光専門家育成を目的に開催され、12ヶ国33都市計145名(計105チーム)の学生が参加した。期間中は、4つ(料理、都市旅行商品企画、カクテル、パリスタ)のコンテスト、セミナー、観光資源視察などを開催。中でも、地元伝統料理対決をする料理コンテストと、参加者自ら企画した都市観光商品を出品し、競い合う都市旅行商品企画コンテストが白熱し、大盛り上がりを見せた。また、イベントの最終日は、参加者全員が思い出づくりのために、釜山市内を観光しながら交流を楽しんだ。



## ソウル, 韓国

### 韓国TPO - 韓国旅行業協会業務 協約締結

韓国のTPOと韓国旅行業協会は、去る7月30日、ソウルのプレジデントホテルにて、今後、相互間で業務協力していくための業務協約式を行った。今回の協約の主な内容は、TPO会員都市の旅行商品開発における情報提供、現地訪問調査活動協力、旅行者の関連情報提供などを骨子としたもの。この日は、ヤン・スムン韓国旅行業協会会長と、ジュ・ファンミョンTPO事務総長、イ・ヨンスン<AB-ROAD>代表をはじめとする、各担当者が参加した。韓国旅行業協会のヤン・ムスン会長は「韓国旅行業協会とTPOは「地域観光活性化」という共通の目標を持っている」とし、「都市間の協力を強化し、交流が増進していくよう、今後も持続的に努力していく所存だ」と話した。これを受けて、ジュ・ファンミョンTPO事務総長は「TPOの究極の活動目標は、観光業界を後援し、支援していくことだ」とし、「TPOは、これまで都市政府への協力を重点的にこなってきたが、今後は活動範囲をさらに広げ、観光業界と緊密に協力し合いながら、支援をしていくことにも注力したい」と語った。

## 台中, チャイニーズタイペイ

### 大安音楽祭を開催

去る8月10日、台中市では、多くの市民が参加する中、市唯一の海洋音楽祭りである大安音楽祭が開催された。この日は、ロックグループによるビーチ公演が行われたほか、翌日の11日にも、中国伝統の七夕情人節を記念した「大安情人の夜」公演が開かれた。これ以外にも、様々な音楽公演や、砂盛り大会、ピキニコンテスト、鉄人3種競技、5万台湾ドルの賞金がかかった創作曲コンテストといった多彩なイベントが催された。

音楽とビーチ、ピキニが調和したこの祭りは、台中市民や観光客など、すべての人が楽しめるようにと、市庁観光旅遊局が企画したもので、毎年夏に開催されている。





東洋の真珠 ペナン

## Dato' Patahiyah Binti Ismail 市長

東洋と西洋の伝統、宗教、文化が共存し、独特の魅力を放っている街、マレーシアのペナン。マレーシアきっての観光地でもあるペナンには、どのような見どころがあるのだろうか。ペナン島市議会とペナン州の州都、ジョージタウンを先導しているDato' Patahiyah Binti Ismail市長に、ペナンの美しさと未来構想について語ってもらった。

<Tourism Scope>の読者とTPO会員都市関係者の皆さんに、ジョージタウンとペナンを紹介してください。

マレーシアきっての観光地であるペナンは「東洋の真珠」、「インド洋のエメラルド」と呼ばれる美しい島です。ペナン島の州都であるジョージタウンは、イギリス国王だったジョージ3世にちなんで付けられたもので、1957年1月1日にマレーシア王室により、正式に都市に昇格しました。ジョージタウンには多彩な文化がありますが、特に食文化と文化遺産が有名です。また、築100年を遙かに越えた建物が多く、東南アジアの中でも、第2次世界大戦以前の建物が最も残っている街として知られています。

観光地ペナンとしての最大の魅力は何ですか？

ジョージタウンはその卓越した普遍的価値が認められ、2008年7月7日にユネスコの世界文化遺産に登録されました。様々な文化が共存しているほか、多種多様な様式が混合している独特の建築物も多く、文化体験をするのにとっても良いところです。また、ペナンヒルやケロシ寺院といった観光スポットや、美しいリゾート、韓国の現代建設が作ったペナンブリッジなど、見どころも大変豊富です。



**市長がおすすめする観光地はどこですか?**

ジョージタウンにいらっしゃったら、まずは歴史・文化遺産探訪コースを散策していただきたいです。すると、街のあちこちに、雄大なイスラム寺院や、中国式・インド式の仏教寺院、カトリック聖堂など、さまざまな宗教遺産が点在しているのがおわかりいただけるでしょう。驚くことに、これらの寺院はすべて、歩いて5分以内の距離にあります。他の宗教や文化、祭り、伝統を尊重しながら、いくつもの宗教、人種が共存しているのが、ジョージタウン、ひいてはペナンの姿ですが、本探訪コースでは、その様子を垣間見ていただけるのではないかと思います。

また、ペナンの食文化にもぜひ触れていただきたいですね。ペナンには数多くのレストランがあり、いつでもどこでもおいしい物を召し上がっていただけます。地元の人々に人気の料理が堪能するなら、24時間営業の屋台をおすすめします。



**TPO会員都市として、現在計画していることや目標などありますか?**

昨年の2012年にジョージタウンで開催した第5回TPOフォーラムは、様々な政府機関並びに民間機関が協力してくださったおかげで、成功裏に終了することができました。もちろん、多くの市民の努力があったからこそ成し得たことでもあります。このような底力をベースに、2015年開催予定のTPOの総会開催招致レースにも参加する計画をしています。

**ペナン・ジョージタウンの今後の発展計画も気になるところです。**

現在の最大目標は、人的資源の開発と交通渋滞の解消、そしてすべての市民が安らかに暮らせるための住宅供給です。それらが実現されたら、ペナンは今よりもさらに、きれいで地球にやさしく、安全で元気な街になるでしょう。ペナンの夢は、国際的で機能的な都市になることです。そうなるために、今後10年間の経済開発計画であるペナンパラダイムを樹立し、経済的活力と社会発展を実現させる努力をしています。具体的な目標は△貧困と社会経済不均衡の解消 △持続可能な発展と環境保護 △魅力的で熟練した人的資源の開発 △社会の民主的な要素の発展 △持続的で肯定的な政府行政の発展の5つです。

**ペナン・ジョージタウンでは、様々なお祭りが開催されると伺いました。どんなお祭りがあるのか教えてください。**

ペナンは祭りの島と申し上げても過言ではないほど、多彩なイベントが年中繰り広げられています。今年の下半期だけでも、ハロウィーン、クリスマス、龍船レース、ジャズフェスティバル、ダンシングチャンピオンシップ、マラソン大会、イスラム文化行事など、約20のイベントが開催されているほか、来年の上半期にも、お正月イベント、ケロシ灯籠祭り、ワールドミュージックフェスティバル、ソングクランフェスティバルなど、数十のお祭りが準備されています。そういう意味では、ペナン・ジョージタウンでは、楽しいお祭りの雰囲気はいつでも感じることができるといえるでしょう。



**最後に、TPO会員都市関係者の皆さんに向けて、一言お願いします。**

ジョージタウンとペナンの観光業界発展に、ご協力くださっている会員都市関係者各位に感謝の意を表します。TPOはアジア太平洋地域の観光業界発展に大きく貢献し、世界で最も活動的な機構として、成功をおさめるだろうと確信しています。

TPO会員都市関係者や一般市民の皆さんが、ジョージタウンを訪れてくださることを願っています。ペナンは見どころ満載で、おいしい物がたくさんあるところですので、ここでしか体験できないものを見て、感じて、聞いて、味わっていただくと幸いです。アットホームで、心あたったかいた人々がたくさんいる街、ペナンが、皆さんのお越しを心よりお待ち申し上げます。